

コスモス

COSMOS GAKUEN

47号

社 会 福 祉 法 人
足 柄 緑 の 会

編集・発行／コスモス学園

発行日／令和5年9月29日

URL : <https://www.n-csm.jp>



社会福祉法人
足柄緑の会



— 特集 —

- ◆ 新監事 関 正明 氏 のご紹介
- ◆ 令和4年度 理事会・評議員会 決議事項報告
- ◆ 令和5年度入所式 / 職員研修

- ◆ 令和5年度上半期 各事業所のニュース
- ◆ 令和4年度 事業報告・決算報告
- ◆ 新利用者紹介 / 新職員紹介

/ あの一とこんなひと / 善意



新監事のご紹介



足柄緑の会

監事 関 正明

今年6月に法人の監事に就任しました 関 正明 です。

私は昭和58年から約40年間、知的障害福祉の現場での支援と相談支援業務に携わってきましたが、特に平成の時代は障害福祉制度が大きく変革した時期でありました。

平成15年に、これまでの措置制度から支援費制度への転換がありました。「障害があっても地域の中で自分らしく暮らしていく社会」というノーマライゼーションの理念の実現を目指し、障害者の主体性を尊重する制度として、利用したいサービスを「自己選択」、自分の意志で決め（自己決定）、事業所と契約し（自己責任）、利用することができるようになりました。

その後、障害者自立支援法（後の障害者総合支援法）が制定され、新サービス体制の編成、障害程度区分（後の障害支援区分）導入による支給決定の仕組みの明確化、安定的な財源の

確保（費用の2分の1を義務的経費とする反面、利用者にもサービス量や所得に応じて原則1割負担する）が図れました。

また、平成23年障害者基本法の改正、障害者虐待防止法の制定があり、平成25年の障害者雇用促進法改正、障害者差別解消法制定を経て、平成26年障害者権利条約の締結に至っています。

このように、障害福祉制度が大きく変革してきましたが、「福祉の根源」は揺るぎなく、法人の理念でもある「一人の人として究極の幸せ」の探求こそ、福祉に携わる者として忘れてはならない大切な視点だと思えます。その人らしくよりよく生きることは、障害に限らず一人の人間としての生き方につながっていくはずですので。

監事として微力ながらお手伝いできればと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

令和4年度 理事会・評議員会 決議事項報告

(1) 理事会

令和4年度第1回理事会 令和4年5月27日(金)

- 第1号議案 令和3年度事業報告の承認の件
- 第2号議案 令和3年度計算書類等の承認の件
- 第3号議案 監事選任候補者の推薦の提案の件
- 第4号議案 定時評議員会の招集の件
- 第5号議案 射出成形機の購入の件
- 第6号議案 令和4年度資金運用計画等承認の件

令和4年度第2回理事会 令和4年7月20日(水)

- 第1号議案 運営規程の変更の件
- 第2号議案 令和4年度第1次補正予算承認の件
- 第3号議案 第三者委員の変更の件

令和4年度第3回理事会 令和4年9月27日(火)

- 第1号議案 給与規程の変更の件
- 第2号議案 無期転換職員就業規則の変更の件
- 第3号議案 パートタイム・有期雇用労働者就業規則の変更の件
- 第4号議案 相談支援事業所あすなろの運営規程の変更の件
- 第5号議案 コスモスホームの運営規程の変更の件

令和4年度第4回理事会 令和4年11月21日(月)

- 第1号議案 育児休業・介護休業・子の看護等規則の変更の件
- 第2号議案 居宅介護事業所それいゆの運営規程の変更の件
- 第3号議案 土地賃貸借契約書の変更の件

令和4年度第5回理事会 令和5年1月31日(火)

- 第1号議案 令和4年度第2次補正予算承認の件
- 第2号議案 DDHBOXの設置の件
- 第3号議案 資金運用規程の変更の件
- 第4号議案 令和4年度資金運用計画等の変更の件

令和4年度第6回理事会 令和5年3月28日(火)

- 第1号議案 第3次中期計画承認の件
- 第2号議案 令和5年度事業計画承認の件
- 第3号議案 令和5年度予算承認の件
- 第4号議案 令和5年度資金運用計画承認の件
- 第5号議案 令和5年度役員等賠償責任保険契約の件
- 第6号議案 コスモス学園松田センターの外壁塗装の件
- 第7号議案 マイカー通勤規程の制定の件
- 第8号議案 コスモス学園中沼ジョブセンターの照明器具LED化工事の件

(2) 評議員会

定時評議員会 令和4年6月28日(火)

- 第1号議案 令和3年度計算書類等の承認の件
- 第2号議案 監事選任の件

理事長	関野 純一		
理事	林 淳	齋能 通	宮坂 信章
	川端 慎	小田島 明	
監事	加藤 正晃	関 正明	
評議員	鍵和田 茂	鍵和田 功	玉川 善弘
	廣田 勝紀	赤沼 洋	浅沼 賢史
	晝場 浩司		

令和5年度入所式

松田センター生活介護

松田センターでは、この春から新たに生活介護に柳町卓さんを迎えています。コロナ禍の入所式ということもあり、生活介護、就労継続B型で一緒に行うことはできませんでしたが、少人数で新型コロナウイルス感染対策を徹底し、利用者、職員とも笑顔で楽しく行うことができました。

柳町さんにとって新しい環境で少し緊張もありますが、これから一緒に色々な日中活動、行事など楽しい時間を過ごしていけたらと思います！



中沼ジョブセンター

今年度、新利用者に小田優希さん、晝岡裕太さんの2名を迎えました。実習中にコスモス学園の雰囲気や作業を通じて、先輩たちと過ごす機会はありましたが、実際に先輩たちの前で改めて挨拶をするのは緊張したようです。その中でもきはきと自己紹介をしてくれました。先輩からの挨拶では、コスモス会役員が活躍してくれました。

開式の挨拶に永吉さん、会長挨拶に大石さん、閉式の挨拶に露木さんがそれぞれ担当してくれました。入所式が終わった後は、中沼ジョブセンター恒例の集合写真タイムです。小田さん、晝岡さんを囲んで先輩の皆さんと笑顔で写真を撮りました。

2人のこれからの活躍がとても楽しみです。



法人職員研修

令和5年6月9日(金)、「丁寧な支援を心がける」をテーマに法人内研修を行いました。

研修では、法人内各部門のさまざまな立ち位置から、利用者支援について丁寧なかかわり方や対応をグループワークで検討し意見を交換しました。

事例検討では、利用者の言葉や行動の裏にある伝えたいことは何か、どうしてその言葉や行動をするのかを検討しました。その結果、次の3点について、職員の理解が深まったと感じました。

1. 普段関わっていない利用者の言動について理解が深まった。
実際に関わっている職員が事例について説明することで、言動の裏にある利用者の思いを伝え、表に見える表現以外を汲み取り、利用者の意思の理解を深めた。
2. いつも関わっている職員が利用者に対して新しい視点が持てた。
いつも関わることで固まっていた見え方を、別の視点から見たい意見を聞くことで、新たな関わり方や前向きな評価を持つきっかけになった。
3. 第三者から見るとその支援がどのようなに見えるか。

支援的な意図や目的があっても、一般的な視点から見ると、虐待や差別と受け取られるような職員の言動になっていないかを意識できるようにした。

当法人の基本理念である「私たちは一人ひとりの利用者が一人の人として究極の幸せを得られるよう支援します。」を実現するためには、場当たり的な支援や目に見える問題を解決することではなく、利用者一人一人の意思を理解し、目標や生きがいを見つけ、虐待や差別のない支援環境を提供することが重要であると、研修を通じて実感しました。

法人職員一人一人が「丁寧な支援を心がける」ことで、利用者のみならず、幸せな生活を続けられるよう、職務に励んでまいります。

忙しい業務の中、研修の準備を行った担当職員に感謝いたします。



各事業所の ニュース

中沼ジョブセンター

今年度2名の新利用者を迎え、4月をスタートしました。作業は、今年の5月から7月にかけて神奈川県共同受注窓口から仕事をいただきました。県西部地区の施設、7か所と協力して取り組みました。今回の作業は、100円ショップで販売するネイルシールの台紙セットと袋詰めです。全10種類のうち、中沼ジョブセンターでは2種類を担当しました。台紙のツメ3点にシールを本体に差し込んでいき、それをOPP袋に入れます。

作業を始めたころは思うように進まず、1日の生産量が上がらない時もありましたが、日が経つことに上達してベテランになりました。

また、7月より新規受注先として、1件の企業から内職の仕事をいただけることになりました。

新しい仕事が増えても、みんなで協力していききたいと思います。



上半期の大イベントではミニ納涼大会を行いました。事前の装飾品づくりにも、折り紙や作品作りが得意な方が積極的に協力してくれて、素敵な飾りを作り、廊下や室内を夏祭りのイメージに彩ってくれました。

午前中の準備時間では、突然雨が降ってきてしまい、天候が心配されましたが、利用者の皆さんの日頃の行いのおかげもあってか、開始時間には雨も止み良い天気の中で開催することができました。また、今回の目玉は利用者さんから意見をいただき実現した職員お手製のやぐらです。カラオケや盆踊りの会場で登場し、お祭りの雰囲気盛り上げてくれました。

その他にもゲーム店舗では、射的、キャクター釣りや宝釣りをを行い、食べ物店舗では、かき氷、たこ焼き、焼きそばを提供しました。今回は、岡本地区の民生委員の方々もボランティアとして参加してくださり、利用者さんとともに活気のある店舗にしてくれました。久々にボランティアさんとの関わりもでき、皆さんとても嬉しかったです。



中沼ケアセンター

今年の中沼ケアセンターの納涼大会は懐かしの夏祭りをテーマに行いました。午前はらくがきせんべいをして、「昔やつたよ。」などと懐かしむ声が聞かれました。

午後からはポップコーンやひよこすくい、三角くじ引きの模擬店を出しました。ゲームに関しては、豪華賞品が当たるととても喜ばれている利用者さんの笑顔が印象的でした。

ポップコーンは久しぶりにボランティアさんにご協力いただき、利用者さんとも会話をされて外部の方との交流が戻り嬉しい気持ちになりました。



今年も事業所ごとでの開催でしたが中沼ジョブセンターの夏祭りを見学したり、中沼ジョブセンターの利用者さんが来たり賑やかな雰囲気を感ずることができて良かったです。

今年度初の行事でしたが、やはり利用者さんはイベントを待ち望んでいるなど再認識できたので、今後も楽しいイベントを開催していきたいと考えております。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の状況については予断を許さず、今年度に入ってから中沼ケアセンターにおいては何度か陽性者が出ております。そのたびに利用者の皆様やご家族にはご心配おかけして大変申し訳ありませんでした。ですが、5類感染症に移行したのも事実ですので、状況を見ながら余暇活動の拡充を再度図っていくと考えております。

以前は外部ボランティアに来ていただき、セラピー犬などの余暇活動や買い物外出なども行っていました。

少しずつではありますが、利用者さんが楽しめる活動を再開し、中沼ケアセンターに来て良かったと思ってもらえるようなプログラムを行っていくと考えております。



松田 センター

今年度、松田センターは生活介護に新たに1名の利用者を迎え4月がスタートしました。

7月8日(土)に納涼大会を行いました。今年度も生活介護、就労継続B型に分かれての開催でした。

生活介護は、午前はかき氷作り、午後は輪投げ・ストラックアウト・魚釣り・スイカ提灯作り、就労継続B型は、午前はポップコーンと抽選会、午後は、魚釣り・空き缶つみ・ストラックアウトを行いました。

生活介護は、昨年の10月に植えたイチゴを4月頃にみんなで収穫し、冷凍しておいたものをイチゴジャムにして、かき氷にたっぷりかけて食べました。氷のふわふわもあいまって皆さんあつという間に召し上がっていました。

午後はグループに分かれゲームを楽しみました。普段から体を動かすゲームをしている利用者の皆さんはどれも上手に行っていました。



就労継続B型ではポップコーンにくし引き方式でフレーバーを選んでもらい、それぞれ違うフレーバーを振りかけ楽しみました。チーズやコーンポタージュ、わさびマヨやたこ焼き味などポップコーンが膨らまなかったり、焦げてしまったりハプニングもありましたが、皆さんおいしそうに食べていました。



松田センターの生活介護棟、就労継続B型棟の2カ所の外壁塗装工事を行いました。

工事期間は生活介護が4月15日～5月15日、就労継続B型棟が5月14日～6月15日の約1カ月間でした。両方とも、すごくきれいになり、松田センターがとても明るくなりました！

コスモスホーム

令和5年度前期コスモスホームでは、4月に余暇活動として、小田原フラワーガーデンへ行ってきました。もうすぐ5月の節句ということでのぼりが飾ってあり、それを見ながらチューリップなどの花が咲くゾーンへと、長い距離を歩いて良い運動にもなりました。



6月には、前年と同じく市内一斉美化デーに参加してコスモスホーム周辺の草取りやゴミ拾いを行い、地域住民の一員としての役割を果たしてきました。また、ゴミ拾いの大変さを実感することにより、自分はゴミを捨てないようにしようと、人間性の学びにもなり、街も心も綺麗になりました。

7月には七夕飾りを作り、短冊に自分や他の人も含めた願い事をたくさん書いて、更に、織姫と彦星が無事に天の川を渡って出会えることも祈っていました。そしてみんな自分の幸せだけでなく、周りの人の幸せも願っていました。

少しずつですがコロナによる自粛から解放されたことで、8月下旬の夏にはホームにて初めての花火を行いました。パチパチと暗闇の中、花火が綺麗に浮かび上がりました。花火を間近で見るのが初めての人や、手で持つのがはじめての人もいて、目を輝かせて楽しんでいました。短い時間であったという間に終わってしまいましたが、夏の思い出になったのではないかと思います。



9月3日(日)は早朝より、南足柄市防災訓練・中沼自主防災組織訓練に参加しました。暑さの中ではありませんでしたが落ち着いて行動できました。地域との絆を深める良い機会となりました。今後、今後も継続して参加し地域共生につながればと思います。

午後には、コロナ禍で自粛していたかき氷作りを復活し、シロップはイチゴ、メロン、ブルーハワイの3種類から選んで食べて残暑のなか涼を楽しみました。



今後も感染症対策は継続しながら、余暇活動を少しずつ増やしていきたい、今日という日を一日一日、充実できるようにしていきます。

令和4年度 社会福祉法人足柄緑の会 事業報告

1. 概況

(1) 新型コロナウイルスの状況

職員、利用者、その家族の発症は、前年度に比べ減少した。しかしながら、行事は縮小され、加えて対外的な交流が全くできなかった。感染症対策は今後も継続する。

(2) 行事

前年度と同様、バス旅行が中止となった。納涼大会と学園祭は事業所ごとに規模を縮小し、感染症対策を十分考慮のうえ実施した。

2. 理事長の主な行動計画

(1) 理事長の行動

- ・各種会議、ミーティング等により、職員との情報交換を積極的に行った。
- ・毎月発信している理事長通信は、令和5年3月でNo. 28となった。

(2) 体制の見直し

- ① 総合施設長以下3所長体制が整った。
- ② 「社会福祉法人足柄緑の会未来会議」を発足させ、所長以上7名で法人の将来について意見交換を行った。
- ③ カフェ・デ・ソルを売上不振により閉鎖した。
 - ・9月28日 財産処分 厚生労働省承認
 - ・10月6日 財産処分 神奈川県承認
 - ・11月30日 原状回復工事完了 費用1,188千円
 - ・12月16日 伊豆箱根鉄道㈱との賃貸契約終了
 - ・令和5年2月13日 補助金返還 4,171千円

(3) 設備の老朽化対策

- ・コスモス学園中沼ジョブセンター（以下、「中沼ジョブセンター」という。）生産事業部で、取出機2台更新、成形機1台入替 計5,830千円
- ・コスモスホームで、機械浴設備更新 4,499千円
- ・その他車両入替等を合わせ、総額11,705千円の老朽化対策を講じた。

(4) 不稼働資産対策

特に進展は無かった

(5) 後継者問題

常に、法人全体の大きな問題として意識をもって行動した。職員教育を始めとし、新規・中途採用、正職員登用等すべてを関連した問題として捉えている。

3. 法人の経営方針

(1) サービスの質の向上

① 就労移行支援・就労継続支援B型

ア) 受注・就職状況

- ・新型コロナウイルスの直接的影響は特に無く、受注は前年度より増加した。しかしながら、公共料金等経費が増加したことにより、中沼ジョブセンター、コスモス学園松田センター（以下、「松田センター」という。）とも工賃は若干下がった。
- ・中沼ジョブセンター就労継続支援B型から1名就職した。

イ) プラスチック成形

- ・8月、取引先のA社が倒産した。ロス額1,127千円は、次年度清算処理する。これに替わるB社との直接取引により、現在、売上が月額1,300千円～1,500千円と、従来を上回る取引を継続している。
- ・12月に、C社向け製品の生産について、破断故障が発生した。対策として、生産工程の見直しを行った。

② 生活介護

利用者の意思決定に基づいた支援に努めた。いろいろなプログラムを計画し、感染症対策を考慮したうえで実施した。

③ 共同生活援助（グループホーム）

本人の意向を尊重し、自立に向けた支援に取り組んだ。地域の催しは地域清掃活動以外中止になった。

④ 居宅介護（ヘルパー）

新型コロナウイルスの制約がありながらも、感染症対策を十分取りながら、継続的に実施した。

⑤ 相談支援

電話による相談支援を中心に行った。

(2) 職員の教育・育成

① 人事考課者研修

管理職向けに、人事考課実施前に人事考課者研修を実施した。考課者目線の統一が図られ効果を上げた。

② 職員のメンタルヘルス

正職員全員に対し外部講師を招いて、「職員のメンタルヘルスについて」の研修を実施し、メンタルヘルスチェックにつなげた。

③ 採用活動

- ・コロナ禍の制約はあったものの、例年通り、学校回り、事業所説明会、そして、求人広告媒体の利用を増やし、採用活動を行った。専門学校での授業の一コマを使った説明会は、初めての試みだった。
- ・新卒の採用はなかったものの中途採用として2名の採用があった。

(3) 法人の社会的責任の遂行

- ① 中沼ジョブセンター生産事業部は、昨年に引き続き2月14日山北町川村小学校でロケットの組み立て・打ち上げ教室を実施した。これには利用者4名も参加し、地域貢献を果たした。
- ② ISO9001の監査は、特段の問題は無く理事会で報告した。
- ③ KESは環境改善目標をクリアした。
- ④ リスクマネジメント、権利擁護に関する状況等を理事会で報告した。

(4) 地域における公益的な取り組み

災害対応訓練、権利擁護支援（KWネット）、相談支援ネットワーク等の施設間連携事業へ参加することにより、行政、他の福祉施設、医療機関等と連携、協働を図った。

(5) 法人の法令順守

- ① 幹部職員との定例ミーティングにより、情報の共有化を図り、規程の変更、業務内容の整理を行い、働き方改革に対応した。
- ② プログラムや勤務体制の工夫を図り、サービスの充実に努めた。

(6) 財務安定化

- ① 新型コロナウイルス発症期間中、通所できない利用者に対する在宅支援を行い、収益の確保に努めた。
- ② コスモスホームの機械浴設備は、1,200千円の補助金獲得により更新できた。
- ③ 最低賃金の大幅な上昇等厳しい状況の中、法人全体で経費節減に努めた結果、当期活動増減差額は、前年度よりは減少したものの黒字を確保できた。

令和4年度 決算報告

法人単位資金収支計算書
(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	91,807,846	94,228,020	-2,420,174
	障害福祉サービス等事業収入	472,056,000	473,083,103	-1,027,103
	その他の事業収入	0	350,000	-350,000
	借入金利息補助金収入	934,000	934,000	0
	経常経費寄附金収入	1,000,000	1,044,400	-44,400
	受取利息配当金収入	100,000	96,735	3,265
	その他の収入	14,401,982	15,415,175	-1,013,193
	事業活動収入計(1)	580,299,828	585,151,433	-4,851,605
	支出			
	人件費支出	335,009,211	331,759,943	3,249,268
	事業費支出	63,291,841	60,725,442	2,566,399
	事務費支出	46,011,167	40,421,869	5,589,298
	就労支援事業支出	93,931,600	95,632,379	-1,700,779
	支払利息支出	3,047,000	3,012,094	34,906
	その他の支出	14,407,563	14,287,710	119,853
	事業活動支出計(2)	555,698,382	545,839,437	9,858,945
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	24,601,446	39,311,996	-14,710,550
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	12,872,000	12,872,000	0
	施設整備等寄附金収入	100,000	100,000	0
	固定資産売却収入	385,000	390,500	-5,500
	その他の施設整備等による収入	1,140,000	1,180,000	-40,000
	施設整備等収入計(4)	14,497,000	14,542,500	-45,500
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	29,808,000	29,808,000	0
	固定資産取得支出	12,615,275	12,769,323	-154,048
	施設整備等支出計(5)	42,423,275	42,577,323	-154,048
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-27,926,275	-28,034,823	108,548
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	2,905,500	3,045,530	-140,030
	その他の活動収入計(7)	2,905,500	3,045,530	-140,030
	投資有価証券取得支出	600,000	600,000	0
	積立資産支出	3,325,500	3,219,000	106,500
	その他の活動支出計(8)	3,925,500	3,819,000	106,500
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-1,020,000	-773,470	-246,530
	予備費支出(10)	0	—	0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-4,344,829	10,503,703	-14,848,532
	前期末支払資金残高(12)	188,697,229	188,697,229	0
	当期末支払資金残高(11)+(12)	184,352,400	199,200,932	-14,848,532

法人単位事業活動計算書
(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収入			
	就労支援事業収入	94,228,020	84,139,000	10,089,020
	障害福祉サービス等事業収入	473,083,103	465,177,594	7,905,509
	その他の事業収入	350,000	83,554	266,446
	経常経費寄附金収入	1,044,400	1,500,770	-456,370
	サービス活動収入計(1)	568,705,523	550,900,918	17,804,605
	費用			
	人件費	332,235,413	329,422,296	2,813,117
	事業費	60,725,442	53,729,342	6,996,100
	事務費	40,421,869	41,714,856	-1,292,987
サービス活動増減の部	費用			
	就労支援事業費用	96,295,183	84,909,391	11,385,792
	減価償却費	41,514,853	42,246,905	-732,052
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-23,157,985	-23,699,330	541,345
	サービス活動費用計(2)	548,034,775	528,323,460	19,711,315
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	20,670,748	22,577,458	-1,906,710
特別増減の部	収入			
	借入金利息補助金収入	934,000	1,101,000	-167,000
	受取利息配当金収入	96,735	102,035	-5,300
	その他のサービス活動外収入	15,415,175	11,883,014	3,532,161
	サービス活動外収入計(4)	16,445,910	13,086,049	3,359,861
	費用			
	支払利息	3,012,094	3,382,727	-370,633
	その他のサービス活動外費用	14,287,710	8,670,158	5,617,552
	サービス活動外費用計(5)	17,299,804	12,052,885	5,246,919
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-853,894	1,033,164	-1,887,058
繰越活動増減の部	繰越活動増減差額(7)=(3)+(6)	19,816,854	23,610,622	-3,793,768
	施設整備等補助金収入	12,872,000	11,672,000	1,200,000
	施設整備等寄附金収入	100,000	0	100,000
	固定資産売却益	384,999	0	384,999
	拠点区分間固定資産移管収入	3	0	3
	特別収益計(8)	13,357,002	11,672,000	1,685,002
	固定資産売却損・処分損	5,615,022	4	5,615,018
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	-3,832,744	0	-3,832,744
	国庫補助金等特別積立金積立額	12,872,000	11,672,000	1,200,000
	拠点区分間固定資産移管費用	3	0	3
繰越活動増減の部	費用			
	特別費用計(9)	14,654,281	11,672,004	2,982,277
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-1,297,279	-4	-1,297,275
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	18,519,575	23,610,618	-5,091,043
	前期繰越活動増減差額(12)	302,831,793	279,221,175	23,610,618
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	321,351,368	302,831,793	18,519,575
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	321,351,368	302,831,793	18,519,575

法人単位貸借対照表
令和5年3月31日現在

(単位: 円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	261,407,309	243,893,089	17,514,220	流動負債	97,922,430	92,198,491	5,723,939
現金預金	143,220,410	143,566,201	-345,791	事業未払金	16,895,122	15,599,801	1,295,321
事業未収金	83,985,920	75,633,089	8,352,831	1年以内返済予定設備資金借入金	29,808,000	29,808,000	0
未収補助金	4,571,000	6,671,078	-2,100,078	未払費用	33,073,628	32,105,508	968,120
受取手形	18,573,240	10,392,554	8,180,686	預り金	5,009,132	2,180,096	2,829,036
商品・製品	3,006,227	1,120,528	1,885,699	職員預り金	857,850	627,696	230,154
原材料	1,488,720	1,662,841	-174,121	前受収益	1,875,698	1,899,390	-23,692
立替金	101,871	1,276,500	-1,174,629	賞与引当金	10,403,000	9,978,000	425,000
前払費用	6,441,571	3,566,548	2,875,023	固定負債	214,562,900	244,388,150	-29,825,250
仮払金	18,350	3,750	14,600	設備資金借入金	183,510,000	213,318,000	-29,808,000
固定資産	546,936,598	584,151,283	-37,214,685	退職給付引当金	27,446,900	27,464,150	-17,250
基本財産	388,678,473	420,356,212	-31,677,739	その他の固定負債	3,606,000	3,606,000	0
土地	100,100,000	100,100,000	0	負債の部合計	312,485,330	336,586,641	-24,101,311
建物	287,578,473	319,256,212	-31,677,739	純 資 産 の 部			
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	基本金	86,385,879	86,385,879	0
その他の固定資産	158,258,125	163,795,071	-5,536,946	基本金	86,385,879	86,385,879	0
土地	40,319,868	40,319,868	0	国庫補助金等特別積立金	80,089,381	94,208,110	-14,118,729
建物	9,726,558	16,551,175	-6,824,617	国庫補助金等特別積立金	80,089,381	94,208,110	-14,118,729
構築物	5,586,248	12,231,357	-2,645,109	その他の積立金	8,031,949	8,031,949	0
機械及び装置	7,444,641	3,483,360	3,961,281	施設整備等積立金	7,000,000	7,000,000	0
車両運搬具	10,115,545	12,624,078	-2,508,533	工賃変動積立金(就労)	683,000	683,000	0
器具及び備品	7,859,646	4,617,762	3,241,884	設備等整備積立金(就労)	348,949	348,949	0
権利(償却)	635,745	798,957	-163,212	次期繰越活動増減差額	321,351,368	302,831,793	18,519,575
権利(非償却)	24,109,405	24,109,405	0	次期繰越活動増減差額	321,351,368	302,831,793	18,519,575
投資有価証券	6,850,000	6,250,000	600,000	(うち当期活動増減差額)	18,519,575	23,610,618	-5,091,043
退職給付引当資産	27,446,900	27,464,150	-17,250				
施設整備等積立資産	7,000,000	7,000,000	0				
工賃変動積立資産(就労)	683,000	683,000	0				
設備等整備積立資産(就労)	348,949	348,949	0				
差入保証金	5,900,000	7,080,000	-1,180,000				
その他の固定資産	231,620	233,010	-1,390	純資産の部合計	495,858,577	491,457,731	4,400,846
資産の部合計	808,343,907	828,044,372	-19,700,465	負債及び純資産の部合計	808,343,907	828,044,372	-19,700,465

新利用者紹介



濱田 海斗
中沼ジョブセンター
(就労継続B型)



小田 優希
中沼ジョブセンター
(就労継続B型)



晝岡 裕太
中沼ジョブセンター
(就労継続B型)



柳町 卓
松田センター
(生活介護)

新職員紹介



青嶋 世里奈
中沼ケアセンター



佐藤 志津子
中沼ケアセンター



小野 みゆき
中沼ケアセンター



川口 達也
松田センター

毎日笑顔で
がんばっています。
みなさま、
よろしくお願いします！



日比野 亜希子
中沼ケアセンター
支援員

私の名前は、亜細亜の様に大きな希望を持つ子に！が由来です。学生時代は吹奏楽でフルート、またピアノを専攻しており音楽漬けの毎日でした。お菓子作りと庭のデザインを考えるのが好きなのですが、今は余裕がなく、我が家の庭はトンボや鳥が通う野原に(笑)。それをボーっと眺めるのも楽しみの一つとなりました。

特技は、天気予報です！気象頭痛の為、雨の降るタイミングが当てられます。昔の巫女さんも頭痛持ちだったのでは？と言われていたそうですね。

6年前この仕事に就きたいと、思い切って飛び込むと、今までやってきたことが何一つ無駄になっていないことに気が付きました。皆さんと歌い、調理活動でお菓子を作り、散歩をしては花や実を持ち帰り話題にしたり、楽しい時も辛い時も、利用者の皆さんと職員全員で気持ちを共有し乗り越えてきた事は、私自身の成長にもつながりました。性格判断で「おしんタイプ」とでた私、地味に頑張ります。



山口 幸治
居宅介護事業所
それいゆ
支援員

令和3年1月より中沼ケアセンターにて支援員としてお世話になり、令和5年4月よりそれいゆにて、ヘルパー業務にあたらせていただいております。通所される利用者様と、楽しく活動をさせていただきお帰りになられた後に、それいゆにて入浴介助にあたらせていただいております。新しい発見や利用者様のうれしい変化など、やりがいのある毎日を過ごさせていただいております。

美味しい店を探して食べることが大好きで、ドライブも大好きなので、美食を求め休日は走り回っています。元気いっぱいご利用者の皆様とこれからも楽しく過ごせるよう、毎日笑顔、安全第一で楽しい時間を大切に、健康オタクに磨きをかけて頑張ります。

今後ともよろしくお願いいたします。



社会福祉法人
足柄緑の会

皆さまより多くのご寄附をいただき
ました。
この書面をお借りしましてお礼
申し上げます。

しあわせサービスあしがら(車西)
イトーヨーカ堂労働組合
コスモス後援会
コスモス保護者会

善意

(順不同・敬称略)

令和5年度コスモス学園祭について

新型コロナウイルス感染症は5月より感染法上の5類に移行しましたが、再び増加傾向にあります。そのため昨年に引き続き、従来のコスモス学園祭は行わないことといたしました。

なお、学園祭は縮小した形式で各事業所内にて安全に配慮し、利用者さんと職員で執り行います。

来年はぜひ地域の皆様とコスモス学園祭を楽しめるよう願っています。